DENON

スーパーオーディオ CD プレーヤー

DCD-1650SE

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。
  出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承願います。詳しくは、☞20 ページ「保証と修理について」をご覧ください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く
- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水をかけたり、濡らしたりしない
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら
機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

乾電池は充電しない
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

手の挟み込み注意

指のけがに注意

ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜く

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5 年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

総目次

ご使用になる前に

接続のしかた

再生のしかた

本機の特長

1. Advanced AL32 Processing と高密度 32bit D/A コンバーター

DENON 独自のアナログ波形再現技術 Advanced AL32 Processing を搭載。
16bit のデジタルデータを 32bit に拡張することで微小信号の再現性を高めました。
また、Advanced AL32 Processing で拡張したデジタルデータをアナログ信号に変換するために 32bit/192kHz に対応した高性能 D/A コンバーターを採用しています。

2. MP3 と WMA のファイルの再生

フロントパネルに USB 端子を装備。USB プレイヤーや USB メモリーを接続して MP3/WMA ファイルを再生できます。
iPod は iPod に付属の専用 USB ケーブルを使って接続します。iPod や USB プレイヤーまたは USB メモリーの音楽ファイルをデジタル信号で伝送し、本機のオーディオ回路により、高音質なオーディオ再生をお楽しみいただけます。

3. Advanced S.V.H. Mechanism と Direct Mechanical Ground 構造

新開発の Advanced S.V.H. Mechanism には、アルミダイカストトレイなどメカニズムの各パーツをそれぞれの目的に沿った異なる金属材料で構成。それにより、高質量による制振性の向上や共振点の分散化など、高いレベルの制振性を実現。メカを低重心化することで、ディスクの回転による内部から生じる振動を低減させることはもちろん、外部からの振動にも強い構造を実現しています。
また、電源トランスをフットの直近に配置するなど、内部外部の振動による影響を徹底的に排除する Direct Mechanical Ground 構造を採用し、不要な振動の伝搬とノイズ流出を徹底的に防止しています。

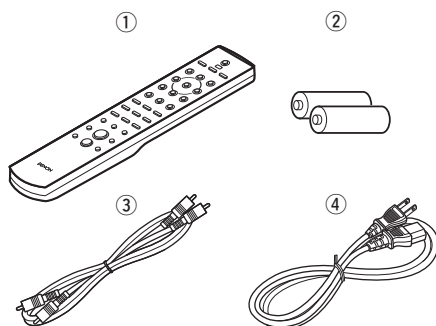
ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

付属品について

ご使用の前にご確認ください。

	数量
① リモコン（RC-1138）	1
② 単４形乾電池	2
③ ピンプラグコード（長さ：約 1.5m）	1
④ 電源コード【本機専用】（長さ：約 1.5m）	1
⑤ 取扱説明書（本書）	1
⑥ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内	1
⑦ 保証書（梱包箱に貼り付けられています。）	1

① ② ③ ④

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

取り扱い上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音（ノイズ）が入る場合があります。携帯電話は、本機から離れたところでご使用ください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

結露現象についてのご注意

本機内部の温度と周囲の温度に大きな差があると、製品内部の動作部に結露（露付き）が起き、正常に動作しなくなることがあります。
その場合は電源を入れたまま１～２時間放置してから、使用してください。

お手入れについてのご注意

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ディスクについて

本機で使用できるディスク

❶ スーパーオーディオCD

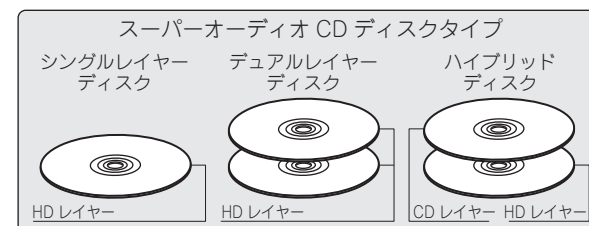
本機で使用できるスーパーオーディオCDは、以下のマークが付いているものです。

Stereo Multi-ch

スーパーオーディオCDには以下の3つの種類があります。

① **シングルレイヤーディスク**
HDレイヤーのみで構成される一層のスーパーオーディオCDです。

② **デュアルレイヤーディスク**
HDレイヤーが二層構造のスーパーオーディオCDです。高音質で長時間の再生ができます。

③ **ハイブリッドディスク**
HDレイヤーとCDレイヤーの二層構造のスーパーオーディオCDです。CDレイヤーの内容は通常のCDプレーヤーで再生することができます。

※ **HDレイヤーとは?**
スーパーオーディオCD用の高密度信号層のことです。

※ CDレイヤーとは?
通常のCDプレーヤーで読み取り可能な層のことです。

DISC LAYER ボタンで“Multi-channel”を選んだ場合は、L チャンネルと R チャンネルにダウンミックスした音声が出力されます。

❷ 音楽用 CD

本機で使用できる CD は、右のマークがついているものです。

❸ CD-R/CD-RW

ご注意

- ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので使用しないでください。

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※ **ファイナライズとは?**
録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

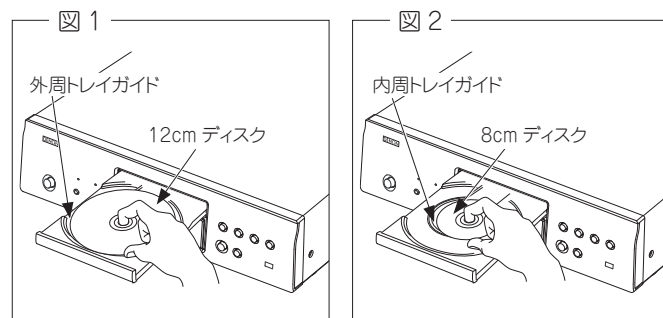
ディスクの持ちかた

ディスク情報面に触らないようにしてください。

ディスクの入れかた

●レーベル面を上にして入れてください。
●ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
●12cm ディスクは外周トレイガイド（図 1）に合わせ、8 cm ディスクは内周トレイガイド（図 2）に合わせて、水平に載せてください。

図 1

図 2

●8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。

●再生できないディスクを入れた場合には、“TRACK0 00m00s”を表示します。
●ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“NO DISC”を表示します。

ディスクを入れる際のご注意

●ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
●ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
●セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。

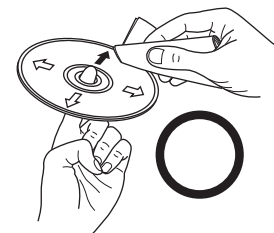
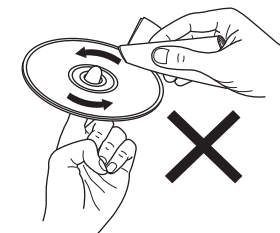
取り扱いについてのご注意

●指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
●ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
●曲げたり、熱を加えたりしないでください。
●中心の穴を大きくしないでください。
●レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
●屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

● ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
● ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
● 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

● ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
● 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などを使用してください。

内周から外周方向へ軽く拭く。

円周に沿っては拭かない。

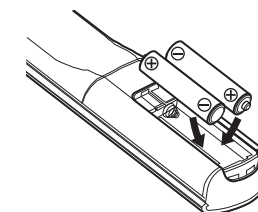
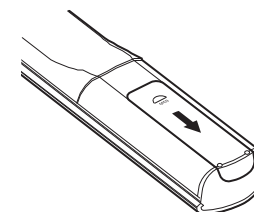
ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

リモコンについて

乾電池の入れかた

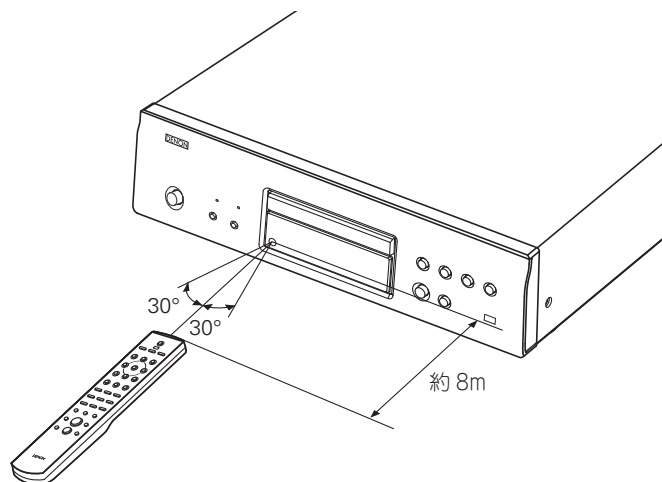
① 矢印のように押して引き上げる。

② 単 4 形乾電池（2本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。

③ 裏ぶたを元通りにする。

ご注意

- リモコンには単 4 形乾電池をお使いください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換して ください。）
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を 入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 不要になった乾電池を廃棄するときは、お住まいの地域の条例にしたがって処理をしてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。

ご注意

リモコン受光部に、直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなったりする場合があります。

各部の名前とはたらき

各部のはたらきなど詳しい説明については、（ ）内のページを参照してください。

フロントパネル

❶ **電源スイッチ（▂ON/STANDBY ■OFF）**…（11）

❷ **電源表示**…（11）
- 電源オン時…緑色
- 電源スタンバイ時…赤色
- 電源オフ時…消灯

❸ **ディスクレイヤー切り替えボタン（DISC LAYER）**…（11）

❹ **ピュアダイレクトボタン（PURE DIRECT）**…（12）

❺ **リモコン受光部**…（7）

❻ **ディスプレイ**…（8）

❼ **ディスクトレイ開閉ボタン（▲）**…（12）

❽ **入力ソース切り替えボタン（SOURCE）**…（11、15、18）

❾ **USB 端子**…（10）

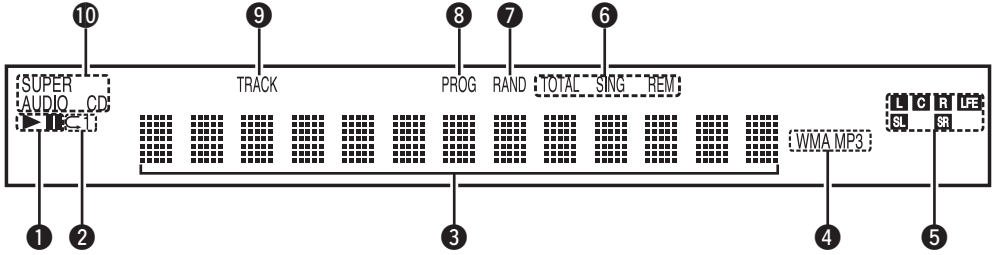
❿ **スキップボタン（I◀◀、▶▶I）**…（12、16、17）

⓫ **ストップボタン（■）**…（12、17）

⓬ **プレイ / ポーズボタン（▶/II）**…（12 ～ 17）

⓭ **ディスクトレイ**…（12）

⓮ **スーパーオーディオ CD 表示（SUPER AUDIO CD）**
本機が下記の状態のときに点灯します。
- スーパーオーディオ CD を装着しているとき
- スーパーオーディオ CD のレイヤーモードを“STEREO”または“MULTI”に設定しているとき

⓯ **Advanced AL32 表示**
本機が下記の状態のときに、Advanced AL32 Processing が動作し、点灯します。
- CD を装着しているとき
- MP3、WMA、外部入力モードのとき
- スーパーオーディオ CD のレイヤーモードを“CD”に設定しているとき

ディスプレイ

❶ **再生モード表示**
▶：再生中に点灯します。
❚❚：一時停止中に点灯します。

❷ **リピートモード表示**
リモコンの **REPEAT** ボタンを押すたびに、次のように点灯します。

❸ **インフォメーションディスプレイ**
ディスクの各種情報（日本語非対応）や再生経過時間などを表示します。

❹ **再生フォーマット表示**
MP3 または WMA のファイルを再生したときに点灯します
FOLDER モードの場合、MP3 または WMA 表示が点滅します。

❺ **再生信号チャンネル表示**
L ：フロント左
C ：センター
R ：フロント右
LFE：サブウーハー
SL ：サラウンド左
SR ：サラウンド右

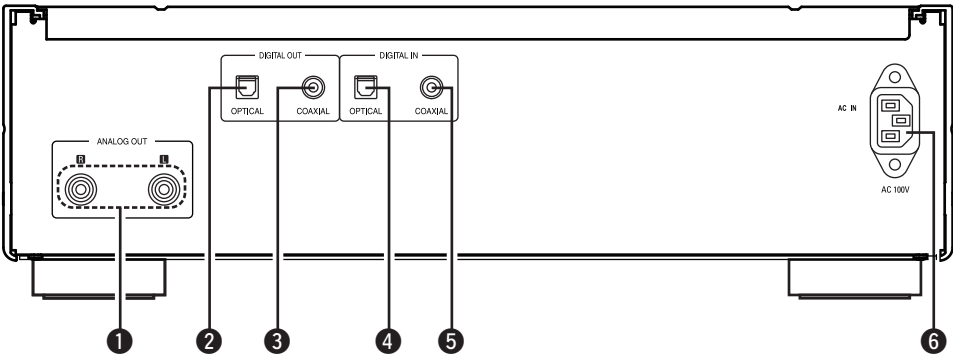
❻ **時間モード表示**
SING REM ：再生曲の残り時間を表示中に点灯します。
TOTAL REM ：全曲の残り時間を表示中に点灯します。

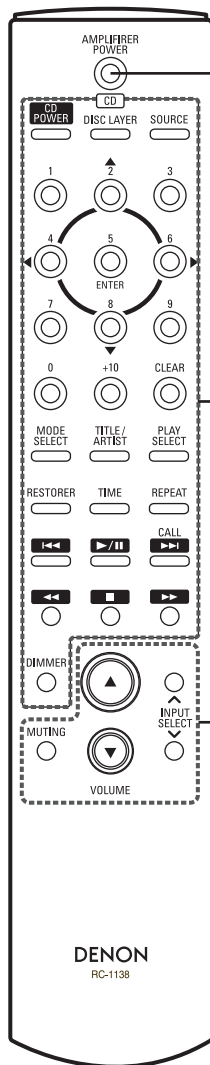
❼ **RANDOM 表示**
ランダム再生にすると点灯します。

❽ **PROGRAM 表示**
プログラム再生にすると点灯します。

❾ **TRACK 表示**
トラック番号の表示中に点灯します。

❿ **ディスク表示**
再生しているディスクの種類を点灯します。

リアパネル

❶ アナログ出力端子（ANALOG OUT）··········（10）
❷ デジタル出力端子（DIGITAL OUT OPTICAL）··········（10）
❸ デジタル出力端子（DIGITAL OUT COAXIAL）··········（10）
❹ デジタル入力端子（DIGITAL IN OPTICAL）··········（10）
❺ デジタル入力端子（DIGITAL IN COAXIAL）··········（10）
❻ AC インレット（AC IN）··········（10）

リモコン

アンプ操作ボタン

このリモコンに対応するプリメインアンプ（PMA-2000SEなど）の操作ができます。操作のしかたは、プリメインアンプの取扱説明書をご覧ください。

CD プレーヤー操作ボタン

CD 電源ボタン（CD POWER）………………（11）
ディスクレイヤー切り替えボタン
（DISC LAYER）………………（11、12）
入力ソース切り替えボタン
（SOURCE）………………（11、15、18）
番号ボタン（0 ～ 9, +10）………………（12、13）
カーソルボタン（△▽◁ ▷）………………（15 ～ 17）
エンターボタン（ENTER）………………（15 ～ 17）
クリアーボタン（CLEAR）………………（13）
モードセレクトボタン
（MODE SELECT）………………（14 ～ 17）
タイトル / アーティストボタン
（TITLE/ARTIST）………………（13、15、16）
プレイセレクトボタン
（PLAY SELECT）………………（13、15、16）
リストアラーボタン（RESTORER）………………（15）
タイムモード切り替えボタン
（TIME）………………（13、16、17）
リピートボタン（REPEAT）……（13、15 ～ 17）
サーチボタン（I◀◀）………………（12、16、17）
プレイ / ポーズボタン（▶/II）………………（12 ～ 17）
サーチボタン（▶▶I）………………（12、16、17）
コールボタン（CALL）………………（13）
早戻しボタン（◀◀）………………（12、16、17）
ストップボタン（■）………………（12、17）
早送りボタン（▶▶）………………（12、16、17）
ディマーボタン（DIMMER）………………（12）

アンプ操作ボタン

このリモコンに対応するプリメインアンプ（PMA-2000SEなど）の操作ができます。操作のしかたは、プリメインアンプの取扱説明書をご覧ください。

- このリモコンでは、DENON 製品のアンプの操作もできます。
- ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 一部操作ができない製品もあります。

接続のしかた

この取扱説明書では、対応するすべての音声信号方式の接続方法を説明しています。接続する機器に合わせていずれかの接続方法をお選びください。

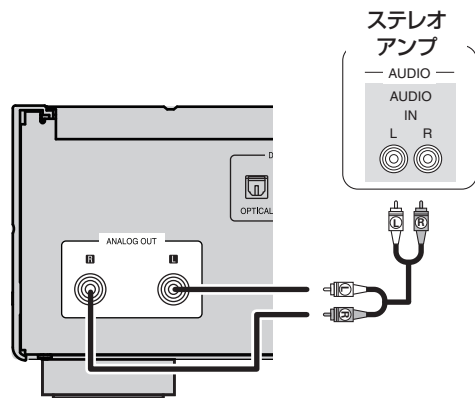
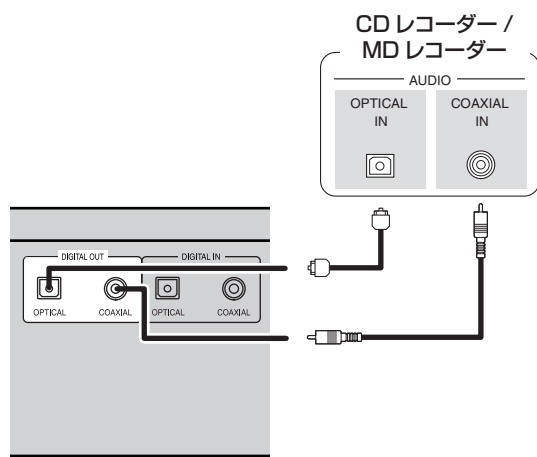
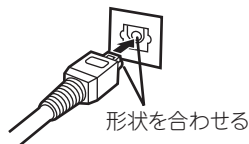
ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとＬ、ＲとＲを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因となることがあります。

準備

接続に使用するケーブル

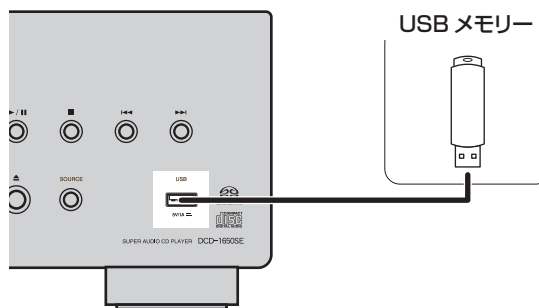
ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

アナログ接続

デジタル接続

❑ **デジタル出力端子（OPTICAL）を光伝送ケーブル（別売り）で接続するとき**

形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

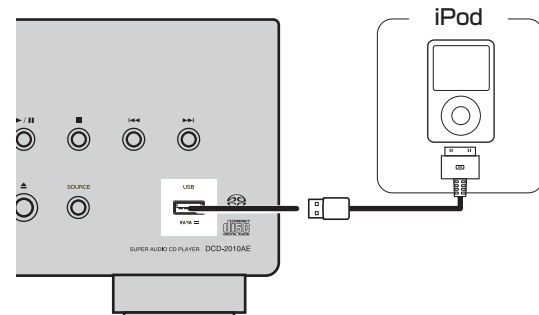
ご注意

スーパーオーディオ CD のデジタル出力はできません。

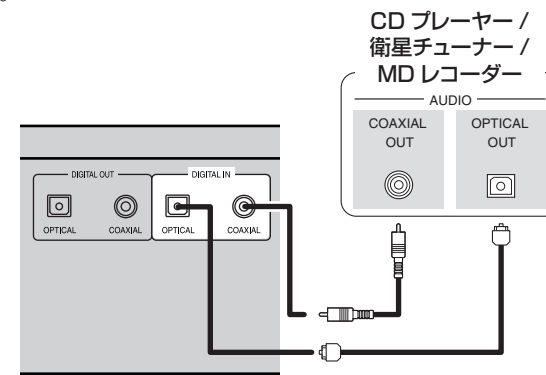
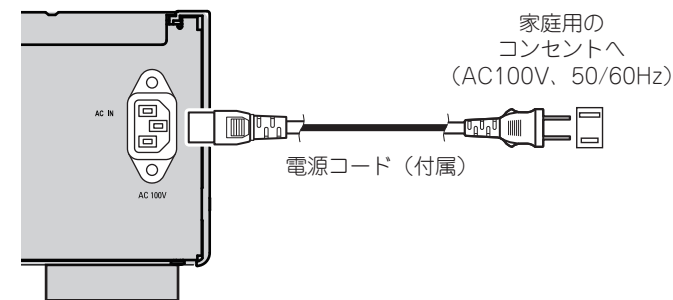
USB 端子の接続

USB メモリー

ご注意

- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーの詳細については、「再生できる USB メモリーのフォーマットについて」（☞17 ページ）をご覧ください。

iPod®

- iPod に付属の iPod 専用ケーブルをお使いください。
- 5 世代以降に発売された iPod、iPod touch、iPod classic および iPod nano が再生できます。詳しくはホームページ（denon.jp）を参照してください。

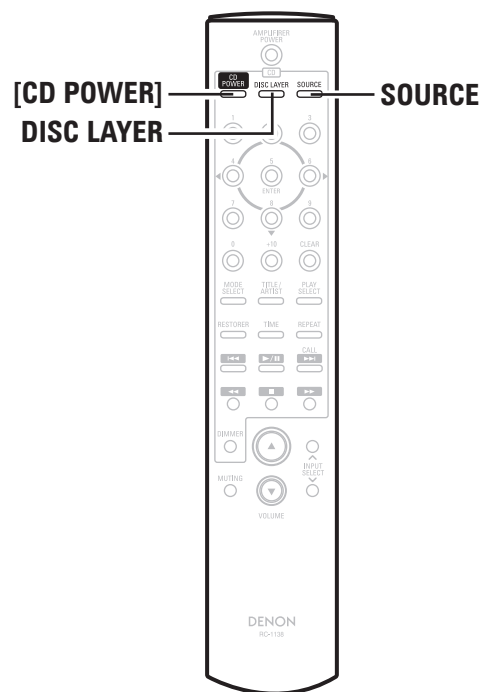
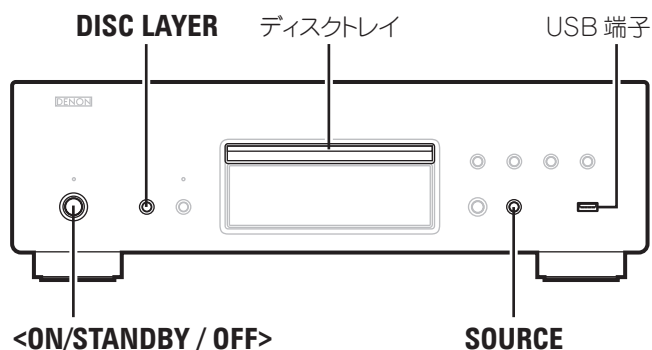
デジタル入力端子の接続

本機を D/A コンバーターとして使用できます（☞18 ページ）。

電源コードの接続

ご注意

- 電源プラグはしっかりと差し込んでください。不完全な差し込みは、雑音の原因になります。
- 本機が動作しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 本機の AC インレットのアース端子は接続されていません。

接続が終わったら

電源を入れる（☞11 ページ）

再生のしかた

準備

スーパーオーディオ CD 最優先演奏レイヤーの設定のしかた

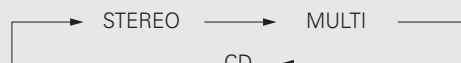
ディスク装着後の最優先演奏レイヤーの設定ができます。

1 **本機の電源を入れる（<ON/STANDBY / OFF> を押す）。**

2 **ディスクが装着されていないことを確かめる。**

※ディスクを装着中にレイヤーの切り替えをおこなうと、そのディスクの演奏レイヤーは切り替わりますが、最優先演奏レイヤーの設定は変わりません。

3 **SOURCE を押して､入力ソースを “DISC” にする。**

4 **DISC LAYER を押して、設定したいレイヤーに切り替える。**

【選択できる項目】

STEREO：スーパーオーディオ CD の 2 チャンネルエリアを再生します。（お買い上げ時の設定）

MULTI：スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアを再生します。本機のアナログ出力にはダウンミックスされた 2 チャンネル信号が出力されます。

CD：スーパーオーディオ CD の CD レイヤーを再生します。

※設定後にディスクを装着すると、設定されたレイヤーの収録内容を表示します。
※設定した最優先レイヤーが収録されていないディスクを装着したときは、自動的に他のレイヤーの収録内容を表示します。
※この設定は本機に記憶され、ディスクトレイの開閉や電源の入 / 切でも解除されません。設定を変えるときは、設定し直してください。

- ディスクが入っているときやディスプレイに“OPEN”を表示しているときは、最優先再生レイヤーの設定はできません。
- マルチチャンネルエリアを再生する場合、本機のアナログ出力は 2 チャンネルにダウンミックスして再生します。
- 最優先再生レイヤーに設定したエリアやレイヤーがないディスクのレイヤー検出順位は、次の通りです。
  ① STEREO　② MULTI　③ CD
- この設定は本機に記憶され、ディスクトレイの開閉や電源の入 / 切でも解除されません。設定を変えるときは、設定し直してください。

USB メモリーまたは iPod を再生する前に

1 **本機の電源を入れる（<ON/STANDBY / OFF> を押す）。**

2 **USB メモリーまたは iPod ケーブルを USB 端子に接続する。**
USB メモリーまたは iPod を本機の USB 端子に接続すると、入力ソースが自動的に“USB”に切り替わり、ファイルの再生をはじめます。

❑ **電源をスタンバイにするには**
[CD POWER] を押す。

❑ **スタンバイを解除するには**
もう一度 **[CD POWER]** を押す。

❑ **電源を切るには**
<ON/STANDBY / OFF> を押す。

ご注意

- 必ず再生を止めてから電源を切ってください。
- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。

再生中にできる操作

ディスプレイの明るさを切り替える

[DIMMER] を押す。

※押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。

より高音質な再生をする ＜ピュアダイレクトモード＞

<PURE DIRECT> を押して"ON"にする。

- OPTICAL/COAXIAL の出力をオフにします。
- ディスプレイの表示を消灯します。
  （再生していない場合、またはディスクが入っていない場合は一部の表示部のみを表示します。）

❑ ピュアダイレクトモードを取り消すには

<PURE DIRECT> を押して"OFF"にする。

ピュアダイレクトモードでは **[DIMMER]** を受け付けません。

時間表示を切り替える

[TIME] を押す。

- 押すたびに、時間表示が切り替わります。

ご注意

- USB または iPod を再生しているときは、時間表示の切り替えはできません。
- ランダム再生中およびプログラム再生中は、全曲の残り時間を表示しません。

CD の再生

CD を再生する

1 ディスクを入れる。

- **<⏏>** を押して、ディスクトレイを開閉します。
- **▶/❚❚** を押してもディスクトレイを閉じることができます。

2 スーパーオーディオ CD の場合：
必要に応じて、DISC LAYER を押して再生レイヤーを選ぶ（☞11 ページ）。

※ディスクに収録されていないレイヤーを選ぶと、優先再生レイヤー順にしたがって、存在するレイヤーを再生します。

3 ▶/❚❚ を押す。

"▶"表示が点灯し、再生をはじめます。

※ディスクに収録されているすべての曲の再生が終わると、自動的に停止します。

❑ 再生を停止するには

■ を押す。

❑ 再生を一時停止するには

▶/❚❚ を押す。
"❚❚"表示が点灯します。

※再生を再開するときは、**▶/❚❚** を押してください。

❑ 早送り / 早戻し（サーチ）をするには

再生中に **[◀◀, ▶▶]** を長押しする。

※ボタンから指を離すと、通常の再生に戻ります。
※サーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

❑ 頭出しをするには

再生中に **❙◀◀, ▶▶❙** を押す。

※ 押した回数だけ曲を飛び越します。
※ 戻し方向に 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

❑ 好きな曲を聞く（ダイレクト選曲）には

[NUMBER]（**0 ~ 9, +10**）で曲を選ぶ。
【例】4 曲目　：**[4]**
【例】12 曲目　：**[+10]**, **[2]**
【例】20 曲目　：**[+10]**, **[+10]**, **[0]**

ご注意

ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

テキストの表示をおこなうとき（スーパーオーディオ CD のみ）

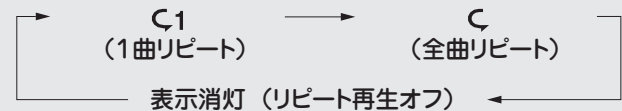
- テキストが収録されているスーパーオーディオ CD の停止中や演奏中に、ディスクに収録されているテキスト情報をディスプレイに表示できます。
- アルバムのタイトル、アルバムのアーチスト名および曲のタイトルを表示できます。
- 表示できる文字は大文字アルファベット、小文字アルファベット、数字および一部の記号です。

停止中に [TITLE ARTIST] を押す。

※ボタンを押すたびに切り替わります。

テキスト表示中に収録時間の表示に切り替えるときは、**[TIME]** を押します。

くり返し再生する＜リピート再生＞

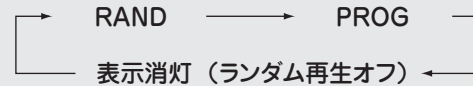
[REPEAT] を押す。
それぞれのくり返し再生をはじめます。

【選択できる項目】

項目	内容
（1 曲リピート）	：1 曲のみをくり返して再生します。
（全曲リピート）	：全曲をくり返して再生します。
表示消灯（リピート再生オフ）	：通常の再生に戻ります。

順不同に再生する＜ランダム再生＞

1 停止中に [PLAY SELECT] を押して、“RAND”を表示させる。

※**[PLAY SELECT]** を押すたびに、ディスプレイ表示が切り替わります。

RAND → PROG → 表示消灯（ランダム再生オフ）

2 ▶/❚❚ を押す。

順不同に再生をはじめます。

❑ ランダム再生を止めるとき

停止中に **[PLAY SELECT]** を 2 回押す。
“RAND”が消灯します。

ランダム再生中に **[REPEAT]** を押すと、一通りのランダム再生後、違った曲順でランダム再生をおこないます。

ご注意

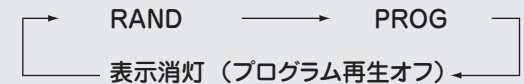
ランダム再生中に、ダイレクト選曲はできません。

好きな順に再生する＜プログラム再生＞

最大 20 曲までプログラムできます。

1 停止中に [PLAY SELECT] を押して、“PROG”を表示させる。

※**[PLAY SELECT]** を押すたびに、ディスプレイ表示が切り替わります。

RAND → PROG → 表示消灯（プログラム再生オフ）

2 [NUMBER]（0 ~ 9, +10）を押して、曲番を選ぶ。

【例】3 曲目、12 曲目、7 曲目の順にプログラムしたい場合：
[3], **[+10]**, **[2]**, **[7]** と押す。

3 ▶/❚❚ を押す。

プログラムされた順に再生をはじめます。

❑ プログラムした曲順を確認するには

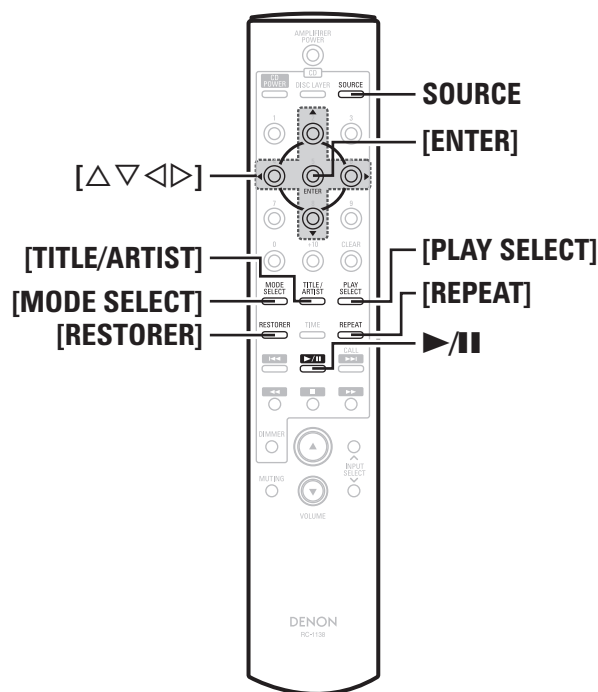
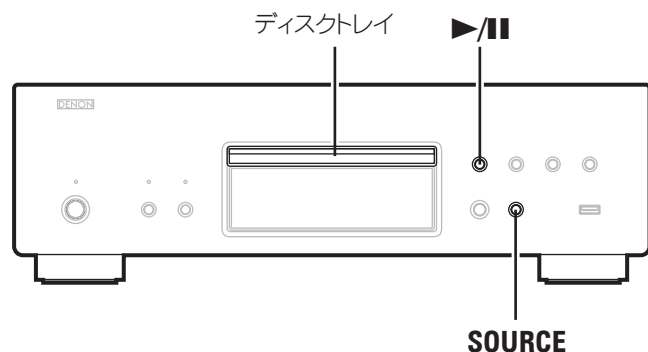
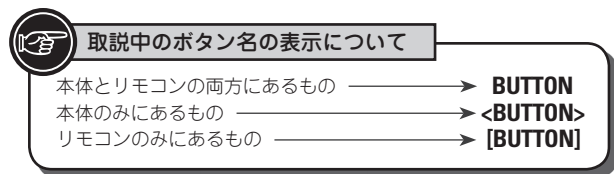
停止中に **[CALL]** を押す。
押すたびにプログラムされた順に曲番を表示します。

❑ プログラムした最後の曲を取り消すには

停止中に **[CLEAR]** を押す。
押すたびに最後にプログラムされた曲を取り消します。

❑ プログラムした曲をすべて取り消すには

停止中に **[PLAY SELECT]** を押す。

プログラム再生中に **[REPEAT]** を押すと、プログラムした曲順に再生をくり返します。

MP3 や WMA ファイルの再生

インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA（Windows Media® Audio）形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）を CD-R/CD-RW に書き込むことにより、本機で再生することができます。

“Windows Media”および“Windows”は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。

再生できる MP3 や WMA のフォーマットについて

次のフォーマットで作成された CD-R または CD-RW ディスクを再生することができます。

ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1

※他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

フォルダ数とファイル数の合計 : 1000 個
最大フォルダ数 : 255 個

ファイル形式

MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）
WMA（Windows Media Audio）

タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
META タグ
（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能な MP3/WMA ファイル			
ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	32 ～ 320 kbps	.MP3
WMA	32/44.1/48 kHz	64 ～ 160 kbps	.WMA

- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生すできます。
- ファイルには必ず拡張子“.MP3”“.WMA”を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

❑ フォルダモードとディスクモードの設定について

[MODE SELECT] で再生するファイルの範囲を切り替える。

- **フォルダモード**
  “WMA”、“MP3”表示部が点滅します。
  選ばれたフォルダ内に含まれているファイルを再生します。
- **ディスクモード**
  “WMA”、“MP3”表示部が点灯します。
  ディスク全体のファイルを再生します。

MP3 や WMA ファイルを再生する

1 MP3 や WMA 形式の音楽ファイルを書き込んだ CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる（☞6 ページ）。

2 **[MODE SELECT]** でフォルダモードまたはディスクモードを選ぶ。

※「フォルダモードとディスクモードの設定について」（☞14 ページ）をご覧ください。

3 **▶/❚❚** を押す。
再生をはじめます。

❑ 再生するフォルダを変えるには
[△, ▽] でお好みのフォルダを選び、**[ENTER]** 押す。

❑ 再生するファイルを変えるには
[△, ▽] でお好みのファイルを選び、**[ENTER]** 押す。

フォルダが選ばれた場合は、選ばれたフォルダの 1 曲目に切り替わります。

❑ 表示を切り替えるには
再生中に **[TITLE/ARTIST]** を押す。

→ フォルダ名 → ファイル名 →

※本機はフォルダ名とファイル名をタイトルのように表示できます。英数字、アルファベットおよびアンダースコアを 11 文字まで表示します。表示できない文字はアスタリスクで表示します。
※表示できる文字は次の通りです。

A ～ Z	a ～ z	0 ～ 9
!”＃＄％＆:;＜＞?＠\[]_`|{}˜^’()＊+,-./＝(空白)		

ご注意
MP3 や WMA ファイルはプログラム再生できません。

MP3やWMAファイルを順不同に聞く（ランダム再生）

1 **[MODE SELECT]** でディスクモードを選ぶ。

※「フォルダモードとディスクモードの設定について」（☞14 ページ）をご覧ください。

2 停止中に **[PLAY SELECT]** を押す。
“RAND”表示が点灯します。

3 **[ENTER]** または **▶/❚❚** を押す。
自動的に選曲して、順不同に再生します。

❑ ランダム再生を解除するには
停止中に **[MODE SELECT]** を押す。
- “RAND”表示が消灯します。

MP3やWMAファイルをくり返して聞く（フォルダ/ディスクリピート再生）

1 **[MODE SELECT]** でフォルダモードまたはディスクモードを選ぶ。

※「フォルダモードとディスクモードの設定について」（☞14 ページ）をご覧ください。

2 **[REPEAT]** でリピートモードを選ぶ。
それぞれのくり返し再生をはじめます。

→ ⟲1（1曲リピート） → ⟲（全曲リピート） → 表示消灯（リピート再生オフ） →

3 **▶/❚❚** を押す。
選ばれたフォルダまたはディスクをくり返し再生します。

❑ フォルダ / ディスクリピート再生を解除するには
停止中に **[MODE SELECT]** を押す。
- “⟲”表示が消灯するまで **[REPEAT]** を押す。

RESTORER機能を使用して再生する

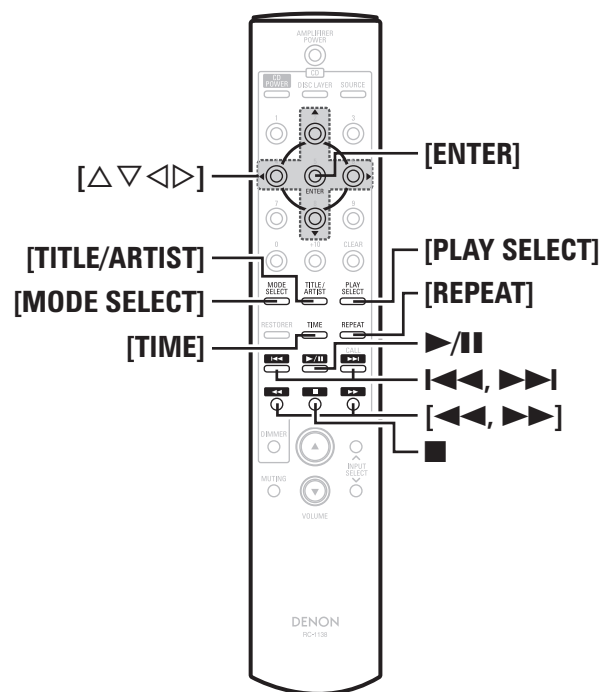
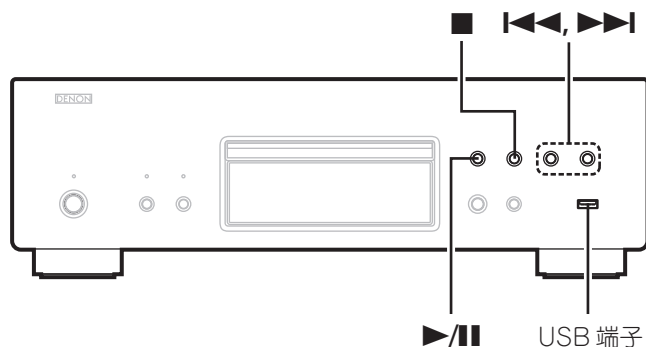
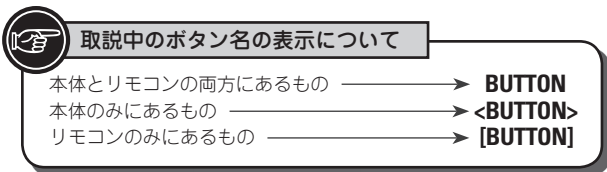
圧縮音声を圧縮前に近い状態に復元し、低域と高域の量感を補正して豊かに再生します。

[RESTORER] で、RESTORER モードを選ぶ。

［選択できる項目］

OFF	：RESTORER を使用しません。
MODE1（RESTORER 64）	：高域が極端に少ない圧縮音声ソースに対して、最適なモードです。
MODE2（RESTORER 96）	：圧縮音声全般に対して、低域と高域を適切に補正します。
MODE3（RESTORER HQ）	：高域が十分にある圧縮音声ソースに対して、最適なモードです。

- RESTORER 機能は、ディスクや USB メモリーに記録された MP3 ファイルおよび WMA ファイル、iPod を再生時に効果があります。しかし、**SOURCE** を押して“EXT IN OPT”および“EXT IN COAX”を選択しているときには効果がありません。
- 再生中に **[RESTORER]** を押して設定することもできます。

RESTORER機能について
MP3、WMA（Windows Media Audio）や MPEG-4 AAC などの圧縮オーディオフォーマットは、人間の耳には聞こえにくい部分の信号を省いてデータ量を減らしています。RESTORER は、圧縮処理をするときに省かれた信号を生成し、圧縮する前の音に近い状態に復元する機能です。同時に低音域の量感の補正もおこないますので、圧縮オーディオ信号をより豊かに再生することができます。

iPod® の再生

iPod の音楽を聴くことができます。さらに、本機およびリモコンで iPod を操作することができます。

Made for iPod

"Made for iPod" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
iPod is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

※ iPod は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

iPod® を再生する

1 再生の準備をする（「USB メモリーまたは iPod を再生する前に」☞11 ページ）。

2 **[MODE SELECT]** を押して、表示モードを選ぶ。
押すたびに、モードが切り替わります。

表示モード		ブラウズモード	リモートモード
表示するディスプレイ		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○	○
	映像ファイル	×	○
操作できるボタン	本機とリモコン	○	○
	iPod	×	○

3 **[△, ▽]** でメニューを選び、**[ENTER]** で再生したい音楽ファイルを選ぶ。

4 **▶/II** を押す。
再生をはじめます。

リモコンのボタンとiPod のボタンの対応関係

リモコンのボタン	iPod のボタン	本機の動作
▶/II	▶II	再生 ※リモートモード時は再生 / 一時停止
I◀◀, ▶▶I	I◀◀, ▶▶I	オートサーチ（頭出し）
I◀◀, ▶▶I（長押し） ◀◀, ▶▶	I◀◀, ▶▶I（長押し）	マニュアルサーチ（早戻し、早送り）
△, ▽	Click Wheel	カーソル上下左右
ENTER または ▷	Select	設定の確定 / 再生
MODE SELECT	—	ブラウズモードとリモートモードの切り替え
REPEAT	—	リピート再生
PLAY SELECT	—	ランダム再生
◁	**MENU**	メニューの呼び出し / メニューのリターン

ご注意

- 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。

本機のディスプレイ表示を切り替える

再生中に **[TITLE/ARTIST]** を押す。
ボタンを押すたびに、表示が切り替わります。

❑ 表示を切り替えるには

[TIME] を押す。

RESTORER機能を使用して再生する

操作のしかたは、15 ページの「RESTORER 機能を使用して再生する」をご覧ください。

iPod を取り外す

1 ■ を押して、再生を停止する。

2 USB 端子から iPod ケーブルを抜く。

USB メモリーの再生

再生できる USB メモリーのフォーマットについて

次のフォーマットで作成された、USB メモリーに保存されているファイルを再生することができます。

USB対応ファイルシステム

“FAT16” または “FAT32”

※USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

1 つのフォルダの中の最大ファイル数 : 255 個
最大フォルダ数 : 255 個

ファイル形式

MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）
WMA（Windows Media Audio）

タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
META タグ
（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生可能な MP3/WMA ファイル			
ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	32 ～ 320 kbps	.MP3
WMA	32/44.1/48 kHz	64 ～ 192 kbps	.WMA

本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生することができます。

※インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

USB メモリーを再生する

1 MP3 や WMA 形式の音楽ファイルを書き込んだ USB メモリーを挿入する（☞10 ページ）。

2 [MODE SELECT] で “フォルダモード” または “ディスクモード” を選ぶ。

※「フォルダモードとディスクモードの設定について」（☞14 ページ）をご覧ください。

3 ▶/❚❚ を押す。
再生をはじめます。

❑ 再生中にフォルダやファイルを変えるには

- フォルダ
  [△, ▽] でフォルダを選び、**[ENTER]** を押す。
- ファイル
  [◁, ▷] でファイルを選び、**[ENTER]** を押す。
  ⏮, ⏭ でファイルを選ぶ。

※ファイル番号は、USB メモリー読み込み時に自動で設定されます。

❑ 再生を停止するには

■ を押す。

❑ 再生を一時停止するには

▶/❚❚ を押す。
“❚❚” 表示が点灯します。

※再生を再開するときは、もう一度 ▶/❚❚ を押してください。

❑ 早送り / 早戻し（サーチ）をするには

再生中に **[◀◀, ▶▶]** を長押しする。

※ボタンから指を離すと、通常の再生に戻ります。
※サーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

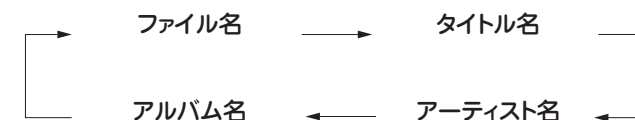
❑ リピート再生するには

[REPEAT] を押す。

❑ ランダム再生するには

停止中に **[PLAY SELECT]** を押す。

❑ 表示を切り替えるには

再生中に **[TITLE/ARTIST]** を押す。

※本機はフォルダ名とファイル名をタイトルのように表示できます。英数字、アルファベットおよびアンダースコアを 11 文字まで表示します。表示できない文字はアスタリスクで表示します。
※表示できる文字は次の通りです。

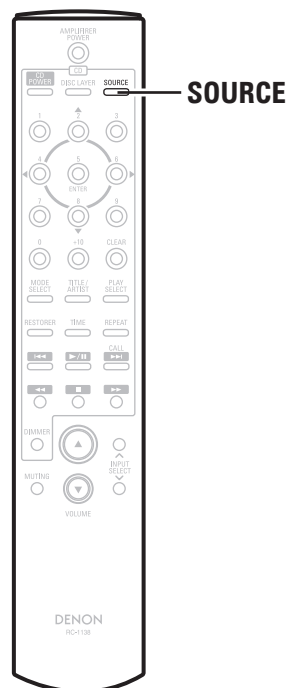
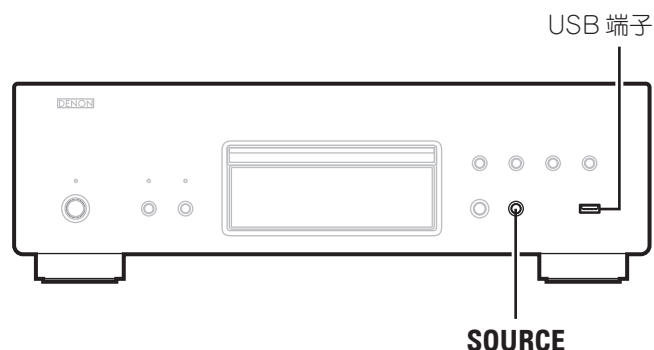
A ～ Z	a ～ z	0 ～ 9

!”＃＄％＆:;<>?@\[]_`|{}~^’()*+,-./=(空白)

❑ 時間表示を切り替えるには

[TIME] を押す。

ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。

D/A コンバーターとして使う

SOURCE で “EXT IN COAX” または “EXT IN OPT” を選ぶ。

※外部入力のサンプリング周波数に応じて、“EXT IN ○○ k” を表示します。

※サンプリング周波数を検出できない場合は、点滅表示になります。

ご注意

- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、128kHz、176.4kHz および 192kHz のリニア PCM 信号です。
  CD-ROM、ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- CS 放送の A モード→ B モードなど、サンプリング周波数が切り替わったときには、1 ～ 2 秒程度消音になり、音が途切れることがあります。

タイマー再生をおこなう

1 **接続した各機器の電源を入れる。**

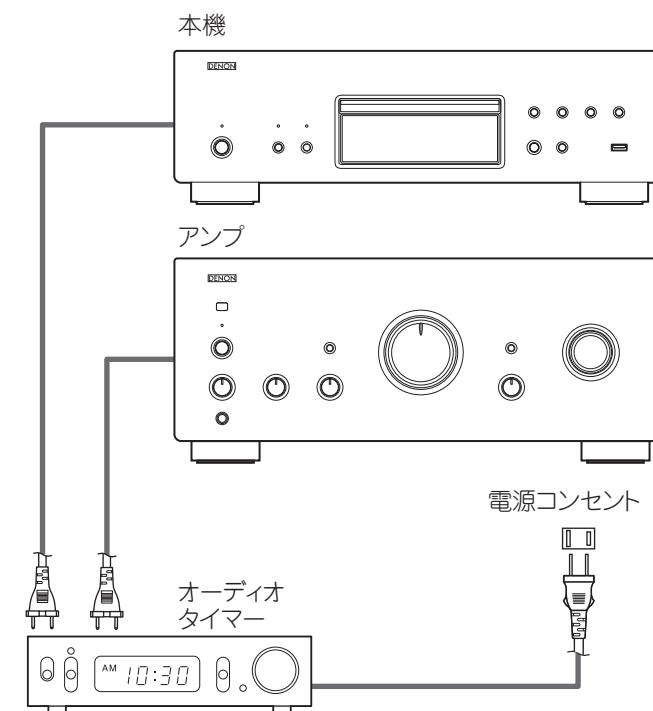
2 **アンプの入力切り替えボタンを、本機を接続しているファンクションに切り替える**

3 **本機にディスクを入れるか、USB 端子に USB メモリーまたは iPod を接続する。**

4 **オーディオタイマーを希望時刻に設定する。**

※オーディオタイマーの取扱説明書もあわせてお読みください

5 **オーディオタイマーを “ON” にする。**
オーディオタイマーに接続された機器の電源が切れます。

※設定した時刻になると、自動的に各機器の電源が入り、再生をはじめます。

故障かな?と思ったら

❏ 各接続は正しいですか
❏ 取扱説明書に従って正しく操作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
ディスクトレイが開閉しない。	●電源が入っていない。	●電源を入れてください。	11
ディスクを入れても“NO DISC”表示になる。	●ディスクが正しく入っていない。	●ディスクを入れ直してください。	6
ディスクを入れても“TRACK0 00m00s”表示になる。	●CD 以外のディスクが入っている。	●CD を入れてください	6
本体の ►/❚❚ ボタンを押しても再生しない。	●ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	●ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	6
音が出ない。または歪む。	●出力コードが正しくアンプに接続されていない。 ●アンプの各種調節やファンクションが不適切。	●接続を確かめてください。 ●アンプのつまみ類やファンクションを確認し、調節してください。	10 —
ディスクの特定の場所が正しく再生できない。	●ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	●ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	6
プログラム再生ができない。	●プログラム方法が違っている。 ●MP3/WMA のディスクではプログラム再生はできません。	●正しくプログラムしてください。 ●CD を使用してください。	13 15
CD-R/CD-RW が再生できない。	●ファイナライズされていない。 ●記録状態が悪い。またはディスク自体の品質が悪い。	●ファイナライズをしてから、再生してください。 ●正しく記録されたディスクをご使用ください。	5 5
リモコンを操作しても正しく動作しない。	●乾電池が消耗している。 ●本機とリモコンが離れ過ぎている。	●新しい乾電池を入れ替えてください。 ●本機にリモコンを近づけてください。	7 7
MP3 や WMA 形式で記録されたファイルが再生できない。	●「著作権保護された WMA ファイル」または「正しく再生できないファイル」を選んでいる。	●◁ または ▷ ボタンで別のファイルを選んでください。	14

【iPod】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
iPod が再生できない。	●ケーブルが正しく接続されていない。	●接続をやり直してください。	10

【USB】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
USB メモリー接続時、ディスプレイに“NO DEVICE”が表示される。	●接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない。	●接続を確認してください。	10
	●マスストレージクラスまたは MTP 以外の USB メモリーを接続している。	●本機は、マスストレージクラスまたは MTP 対応の USB メモリーに対応しています。それ以外の USB メモリーは認識できません。	—
	●本機が認識できないデバイスを接続している。	●故障ではありません。すべての USB メモリーに対して、動作や電源の供給を保証するものではありません。	—
	●USB ハブ経由で接続している。	●USB ハブを経由した接続はできません。また、ハブ機能を内蔵した USB メモリーも再生できません。	—
USB メモリー内のファイルが再生できない。	●USB メモリーのフォーマットが、FAT16 または FAT32 以外のフォーマットになっている。	●フォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。詳しくは、USB メモリーの取扱説明書をご覧ください。	—
	●複数のパーティションに分かれている。	●複数のパーティションに別れている場合は、第 1 パーティション以外は再生できません。	—
	●ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されている。	●対応しているフォーマットで記録してください。	17
	●著作権保護のかかったファイルを再生しようとしている。	●本機では著作権保護のかかったファイルを再生することができません。	17

保証と修理について

保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

❏ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

❏ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

有料修理の料金については「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

❏ 修理を依頼される前に

●取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。

●正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

❏ 修理を依頼されるとき

●添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。

●修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

依頼の際に連絡していただきたい内容

●お名前、ご住所、お電話番号

●製品名……… 取扱説明書の表紙に表示しています。

●製造番号… 保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。

●できるだけ詳しい故障または異常の内容

補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

お客様の個人情報の保護について

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

●この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❑ オーディオ特性

	【スーパーオーディオ CD】	【CD】
● アナログ出力		
チャンネル：	2 チャンネル	2 チャンネル
再生周波数範囲：	2Hz ～ 100kHz	2Hz ～ 20kHz
再生周波数特性：	2Hz ～ 50kHz（－ 3dB）	2Hz ～ 20kHz
SN 比：	119dB（可聴帯域）	119dB
ダイナミックレンジ：	114dB（可聴帯域）	100dB
高調波歪率：	0.0008%（1kHz、可聴帯域）	0.0017%（1kHz）
ワウ・フラッター：	測定限界以下	測定限界以下
出力レベル：	2.0V（10kΩ）	2.0V（10kΩ）
● デジタル出力		
COAXIAL：	—	0.5Vp-p/75Ω
OPTICAL：	—	－ 15 ～－ 21dBm
発光波長：	—	660nm
● 信号方式：	1 ビット DSD	16 ビット・リニア PCM
● サンプリング周波数：	2.8224MHz	44.1kHz
● 使用ディスク：	スーパーオーディオ CD	CD

● デジタル入力信号フォーマット

フォーマット：	DIGITAL AUDIO INTERFACE（リニア PCM）
COAXIAL 入力：	0.5Vp-p/75Ω
OPTICAL	
発光入力：	－ 27dBm 以上
発光波長：	660nm

❑ 総合

電源：	AC100V　50/60Hz
消費電力：	23W（電気用品安全法による） 0.3W 以下（スタンバイ時）
最大外形寸法：	434（幅）× 137（高さ）× 336（奥行き）mm
質量：	13.5kg

❑ リモコン (RC-1138)

リモコン方式：	赤外線パルス式
電源：	単 4 形乾電池 2 本使用
最大外形寸法：	44（幅）× 233（高さ）× 22（奥行き）mm
質量：	165g（乾電池を含む）

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

索引

☞ 英数　ページ

☞ あ行　ページ

☞ か行　ページ

☞ さ行　ページ

☞ た行　ページ

☞ は行　ページ

☞ ら行　ページ

DENON

デノンお客様相談センター

☎ 044-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30 ～ 12：00、12：45 ～ 17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

〒210-8569　神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。

http://denon.jp/jp/support/pages/servicecenter.aspx

後日のために記入しておいてください。

購入店名：	電話（　　－　　－　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

Printed in Japan　5411 10352 109D